

2021年12月17日

各位

高千穂交易株式会社
代表取締役社長 井出 尊信
(コード番号 2676 東証第1部)
問合せ先 管理部長 岩本 昌也
電話 03-3355-1111

次期中期経営計画（骨子）の公表に関するお知らせ

当社は、2021年12月10日開催の取締役会において、「プライム市場」を選択することを決議いたしました。上場維持基準に係る経過措置の適用を受けるため、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたが、その要諦となる次期中期経営計画（2023年3月期～2025年3月期）の骨子について、下記のとおりまとめましたのでお知らせいたします。

記

1. 次期中期経営計画の概要

当社の次期中期経営計画は、2023年3月期を初年度とし2025年3月期までの3年間を計画期間といたします。当社は、プライム市場にて規定される上場維持基準のうち、流通株式時価総額と1日平均売買代金の項目が未達でしたが、次期中期経営計画期間を改善期間と位置づけ、企業（株主）価値の最大化に挑戦してまいります。具体的には、成長戦略の推進と資本効率性を高める資本政策の実施により、ROE8.0%を通過点とし、10.0%の実現を目指してまいります。

なお、次期中期経営計画の正式版につきましては、2022年2月の第3四半期決算と同時公表の予定です。

2. 数値目標

2025年3月期を最終年度とする次期中期経営計画の目標値は下記を設定しております。

	2022年3月期（予想）	2025年3月期
経常利益	11億円	20億円
ROE	5.3%	8.0%必達 / 10.0%目標

※2022年3月期（予想）のROEは2021年9月末の純資産と業績予想の当期利益7.7億円から計算

3. 次期中期経営計画

① 事業戦略

- i. 新たな事業変革に向けた成長戦略
 - ・既存の高収益・成長力のある事業拡大に向けロイヤルカスタマー戦略の推進
 - ・「モノ売り」から「コト売り」へ、サービスビジネスの成長
 - ・新規事業・ビジネスモデルの立ち上げによる将来のコア事業の創出

- ii. 「新たな企業価値創造」に向け 3 年総額 30 億円を戦略投資枠として設定
 - ・注力事業・領域への積極投資によるビジネス基盤の強化
 - ・新規事業、ビジネスモデルの創出

② 資本戦略

- i. 最適資本構成を意識したバランスシートマネジメントの推進
- ii. 資本コストの最適化を図るため、必要な成長投資には有利子負債も活用
- iii. 自己資本を積み増さないことを企図した株主還元の実施

③ ガバナンスの整備

- i. 投資委員会を設置し、M&A 戦略を含めた投資決定に係る監督/審査機能の強化により、取締役会及び執行役員会の議論の質を向上させる
- ii. 任意の指名・報酬委員会を通じた指名・報酬に関する手続きの公正性・透明性・客観性の強化
- iii. 役員の業績連動報酬の KPI に ROE を新たに採用し、株主目線での経営を推進

④ ESG/SDGs の取り組み

- i. 当社サステナビリティ基本方針のもと、ESG 課題と真摯に向き合った経営を推進

4. 株主還元方針

① 2022 年 3 月期（予想）

普通配当に加え、創業 70 周年記念配当 15 円の実施（年間合計配当額：50 円）

② 2023 年 3 月期 ~ 2025 年 3 月期

ROE 3 期平均 8 %を上回るまでは配当性向 100%を維持

〈ご参考〉

新市場区分における「プライム市場」選択申請及び上場維持基準の適合に向けた計画書提出についてのお知らせ

https://www.takachiho-kk.co.jp/pdf/news/news2021/news21_12_10-1.pdf

配当予想の修正(増配・記念配当)に関するお知らせ

https://www.takachiho-kk.co.jp/pdf/news/news2021/news21_12_10-2.pdf

以上